

屋久島町における鳥獣被害の実態と対応

【屋久島町鳥獣被害対策協議会資料より抜粋】

表-1 作物別被害面積の推移

単位:ha

農作物名	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	(同左構成比)
早期水稲	10.0	2.6	2.6	2.6	10.0	10.0	8.0	8.0	8.0	7.5	2.0%
さつまいも	6.0	4.0	4.0	4.0	5.0	10.0	11.0	22.0	18.0	16.0	4.3%
茶						5.0	3.0	5.0	50.0	50.0	13.6%
ばれいしょ	2.0	5.4	20.0	10.0	10.0	50.0	25.0	104.9	10.0	15.0	4.1%
他野菜類	2.0	9.0	1.4	1.0	1.5	1.5	2.0	4.0	2.0	2.0	0.5%
ぼんかん	80.0	122.1	119.2	92.0	42.0	42.0	38.5	171.0	154.0	129.0	35.0%
たんかん	78.0	146.0	130.4	97.7	70.0	90.0	80.0	199.0	108.0	124.0	33.6%
びわ	5.0	7.9	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0	4.0	4.0	4.0	1.1%
時計草	5.0	4.0	2.5	2.2	4.5	4.5	1.0	2.0	1.0	1.0	0.3%
その他					0.1	0.1	0.1	1.1	20.5	20.5	5.6%
計	188.0	301.0	282.0	211.4	145.1	215.1	170.6	521.0	375.5	369.0	100.0%

表-2 作物別被害金額の推移

単位:千円

農作物名	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	(同左構成比)
早期水稲	753	800	800	697	595	674	569	580	729	757	1.1%
さつまいも	477	178	147	151	268	584	606	1,210	2,618	2,049	3.0%
茶						211	122	200	2,818	3,154	4.6%
ばれいしょ	191	540	1,909	912	912	4,510	1,393	5,845	1,006	1,409	2.1%
他野菜類	293	596	221	186	253	266	333	1,760	1,098	490	0.7%
ぼんかん	11,135	20,618	15,127	15,110	7,563	6,182	3,785	29,975	26,719	15,968	23.5%
たんかん	11,371	30,195	23,697	17,586	20,222	29,279	17,436	77,802	33,815	41,567	61.1%
びわ	1,125	2,601	920	851	851	879	784	1,568	359	240	0.4%
時計草	2,000	1,995	1,020	915	989	964	285	570	58	66	0.1%
その他	-	-	-	-	47	47	47	960	2,404	2,385	3.5%
計	27,345	57,523	43,841	36,408	31,700	43,596	25,360	120,470	71,624	68,085	100.0%

表-3 鳥獣別被害金額の推移

単位:千円

鳥獣名	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	(同左構成比)
サル	18,291	32,045	34,725	26,894	21,876	17,750	15,540	29,520	25,032	19,253	28.3%
シカ	7,676	7,553	6,521	6,946	3,441	3,707	4,216	23,480	42,022	24,234	35.6%
タヌキ	0	0	432	482	0	0	0	960	1,784	1,765	2.6%
ヒヨドリ	1,378	17,027	1,066	1,640	6,383	22,139	5,604	66,100	1,326	21,483	31.6%
カラス	0	898	1,097	446	0	0	0	410	1,460	1,350	2.0%
計	27,345	57,523	43,841	36,408	31,700	43,596	25,360	120,470	71,624	68,085	100.0%

表-4 鳥獣別被害の様相

サル	果樹を中心とする食害が恒常的に発生し、通学路や観光施設・集落内に出没して人的被害につながるケースもある。電気柵による防御がとられているが、周辺防風林からの侵入や蔓性下草の繁茂による漏電など、電気柵に対する地元管理体制のあり方にも課題がある。
シカ	作物全般での食害の他、ぼんかん・たんかんでは樹皮が食害され、枯死するなどの事例もある。また、従来被害のなかった茶やガジュツ・ウコン等への食性の変化と思われる食害の他、貴重な野生植物への食害も顕著になるなど、急増傾向にある。さらに道路への出没により、交通事故発生の情報もあり、人的被害も懸念されている。
タヌキ	島外からの持ち込みにより繁殖したもので、目撃情報や被害状況等から見て全島に分布し、さらに増加傾向と推測され、農作物への加害や飼料の盗食、鶏への被害情報がある。
ヒヨドリ	ぼんかん・たんかん及びばれいしょ等野菜への食害が中心であるが、年次変動が大きいのが特徴である。集団的飛来が多い年には鳥獣被害額を激増させ、甚大な被害を受けた平成22年度においては、全被害額120百万円のうち、55%（66百万円）に達した。
カラス	果樹をはじめ農作物の食害の他、飼料の盗食や家畜への危害など畜産関係での被害もある。捕獲の効果により、従来に比べれば被害は少なくなっている。

鳥獣別被害金額の推移

(単位:千円)

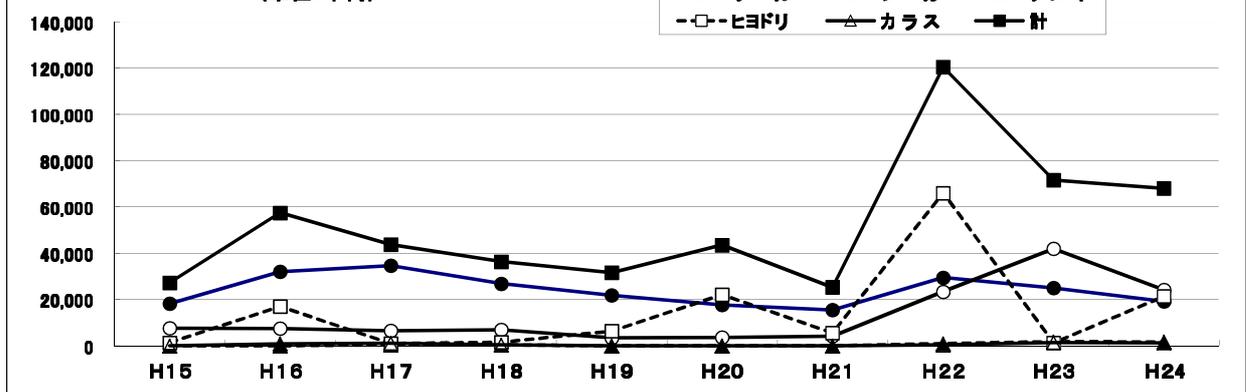


表-5 有害鳥獣駆除に係る鳥獣別捕獲実績(国有林内駆除を除く)

区分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25.11月末
サル	567	454	1,125	1,264	912	1,495	585
シカ	292	188	325	1,278	2,164	3,852	2,820
タヌキ	14	32	36	85	198	257	149
ヒヨドリ	5	0	0	7,969	316	1,994	0
カラス	13	13	324	174	186	42	13

表-6 捕獲器等購入実績

種類	H20	H21	H22	H23	H24
シカ捕獲器	9	14	17	18	5
サル捕獲器		9	20	26	15
タヌキ捕獲器	6	5	3	5	20
カラス捕獲器		2			
シカくくり罠			132	60	85

表-7 歴久島町猟友会員の年齢別構成

年代別	H23.03末	H24.03末	H25.03末
30歳未満	2	3	3
30～39	13	11	11
40～49	8	13	11
50～59	22	22	24
60～69	31	31	31
70歳以上	21	22	21
計	97	102	101

表-8 有害鳥獣捕獲対策事業(町単:100%)～捕獲補助金

鳥獣名	円/頭・羽	備考	年度	金額(千円)
サル	7,000	H22～2,000円増額	H20	2,880
シカ	5,000	H22～新設	H21	5,574
タヌキ	3,400		H22	18,784
ヒヨドリ	400	H22～新設	H23	17,970
カラス	400		H24	31,413

表-9 ヒヨドリ被害対策事業(町単:50%,千円)～防鳥網,サンテ購入に対する助成

年度	H22新設	H23	H24
総事業費	7,570	1,807	8,890

【その他参考資料】

防止柵の設置状況

実施年度	実施場所・内容等
H21	電気柵～春牧1,394
H22	電気柵～尾之間1,125
H23	電気柵～平内1,125, シカ柵～永田9,100, 口永良部2,000
H24	電気柵～吉田2,468, シカ柵～永田8,695m, 町営牧場10,025
H25	電気柵～麦生3,493, シカ柵～永田8,362m